

2026年3月9日

各位

株式会社 北海道銀行

**「健康経営優良法人 2026 大規模法人部門(ホワイト 500)」の認定について**

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、2026年3月9日に経済産業省より健康経営の顕彰制度「健康経営優良法人 2026 大規模法人部門（ホワイト 500）」の認定を受けましたのでお知らせいたします。当行は、9年連続の認定となります。

「健康経営優良法人」とは、「日本再興戦略会議 2016」に基づき経済産業省によって創設した認定制度であり、運営機関である日本健康会議と共同で、優良な健康経営を実践している法人を認定・公表するためにスタートしたものです。優良な健康経営に取り組む法人を「見える化」することによって、従業員や求職者、関係企業などから「職員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境の整備を目的としています。

当行では、2017年12月4日付で「健康経営宣言」を制定、2020年7月10日付で改訂し、頭取を健康管理責任者として、職員の健康保持・増進に繋げる諸施策に取り組んでおります。今後も引き続き、企業の持続的な成長の実現には職員の心身の健康が不可欠であるとの見地に立ち、健康保険組合と連携して、職員一人ひとりが自らの能力を最大限に発揮できる職場環境を整備し、組織全体の更なる活性化の実現を目指してまいります。



## 該当する SDGs の目標



SDGs は Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

&lt;本件に関するお問い合わせ先&gt;

北海道銀行 人事部 小野寺・北清 TEL(011)231-3022  
広報CSR室 坂野・石水 TEL(011)233-1005

## 参考資料：北海道銀行における「健康経営宣言」について

### 1. 健康経営宣言の内容

～ 健康経営宣言 ～

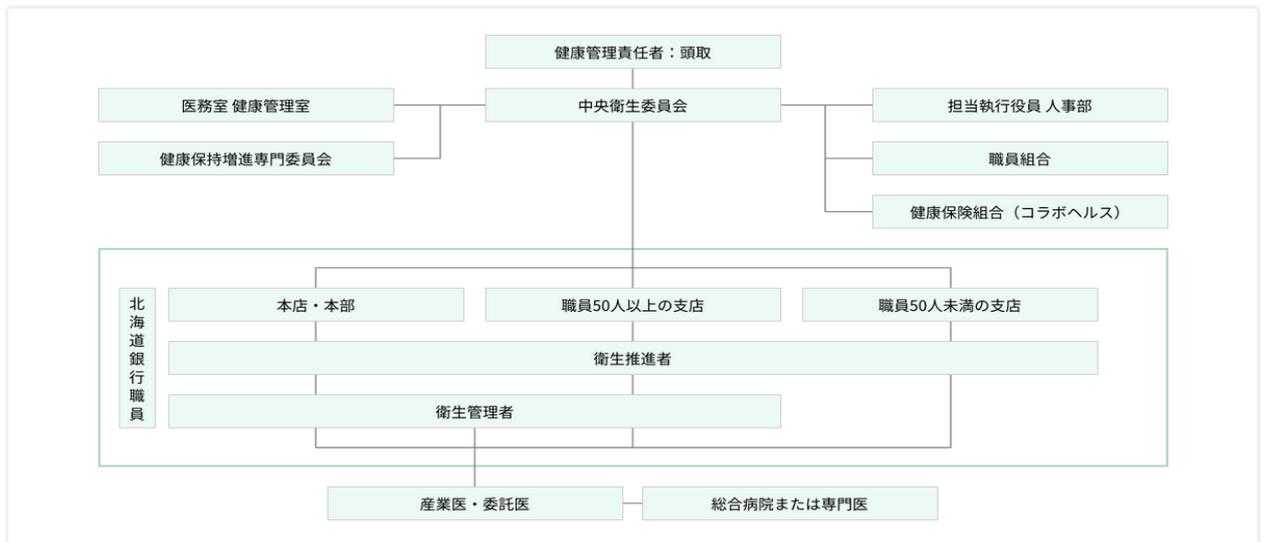
北海道銀行は、職員の心身の健康保持・増進が企業活力の維持・発展のためには欠かせないものと考え、銀行・健康保険組合・産業医・職員組合そして職員が一体となって健康づくりを推進します。また、健全な金融機能等の提供により、活気あふれる地域づくりにも貢献してまいります。

2017年12月4日制定、2020年7月10日改訂  
株式会社北海道銀行 頭取 兼間 祐二

### 2. 推進体制

頭取を健康管理責任者とし、銀行・健康保険組合・産業医・職員組合そして職員が一体となって、様々な重点施策等に積極的に取り組みます。

<推進体制図>



### 3. 主な取組内容

- (1) コラボヘルス（健康保険組合・職員組合との連携）
  - ・ 健康アプリの活用、ウォーキングキャンペーンなど
- (2) ストレスチェック
- (3) その他取り組み
  - ① 職場での取り組み
    - ・ 有給休暇取得促進、早帰りに向けた取り組みの実施
    - ・ 体育奨励補助制度等に基づく職員の運動による健康増進活動の奨励
    - ・ 敷地内全面禁煙
  - ② からだの健康に関する取り組み
    - ・ 定期健康診断の完全実施と二次健康診断受診率向上、特定保健指導の実施率向上
    - ・ 脳ドック、肺ドック、乳がん・子宮頸がん検診の受診推奨
    - ・ 禁煙外来治療の受診推奨
  - ③ 心の健康に関する取り組み
    - ・ メンタルヘルスセミナーの実施、管理職層以上へのメンタルヘルス対策の講義実施
    - ・ 高ストレス者への産業医面談勧奨

以上

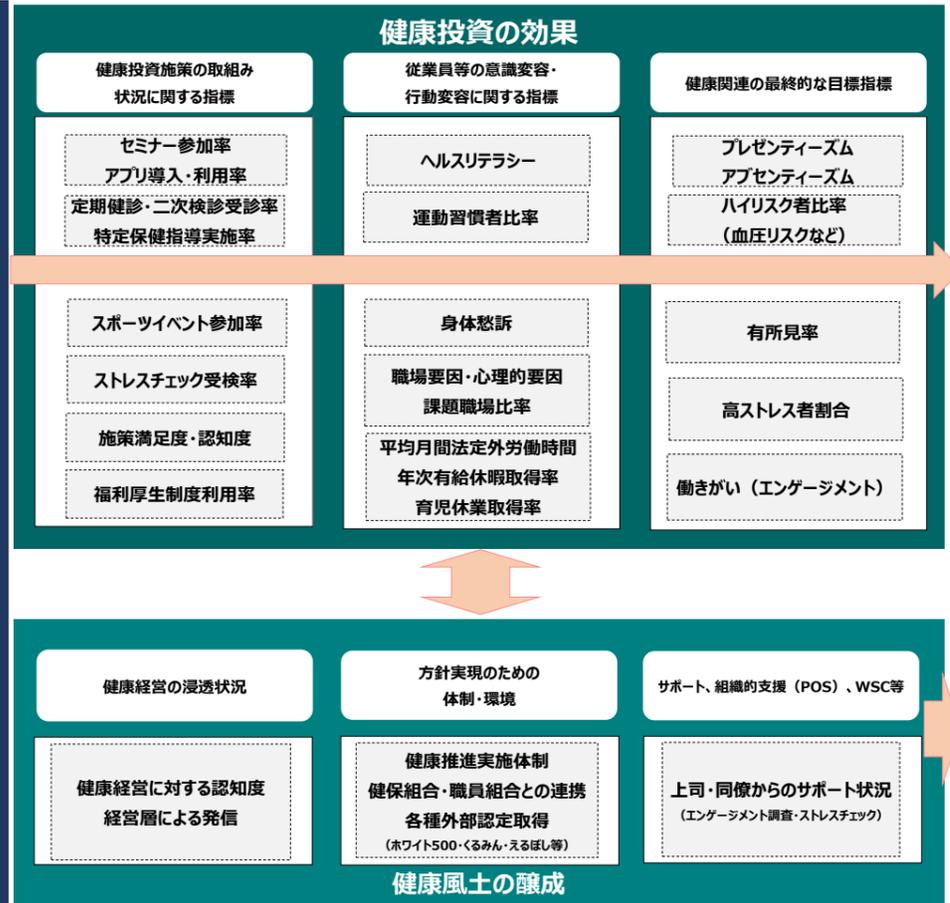
【健康経営戦略マップ】



作成年：2025年8月

健康投資	
<b>健康保持・増進施策</b> 敷地内全面禁煙 定期健診・各種検診・保険指導 医務室による禁煙外来治療受診推奨 スポーツスタ開催 ウォーキングキャンペーン 体育奨励補助制度に基づく活動奨励 スポーツ施設・保養所提携	<b>健康支援（各種補助）施策</b> 各種検診受診推奨・補助 (脳ドック・肺ドック・乳がん・子宮頸がん) インフルエンザ予防接種補助 禁煙治療補助 ヒロリ除菌補助 家庭常備薬品斡旋
<b>健康教育・リテラシー向上施策</b> 健康アプリ「Pep Up」活用 Web学習ツール（Doサポートシステム）による動画配信・理解度テスト 各種セミナー（メンタルヘルス・女性健康・介護・アンダーマネジメント） 衛生委員会（睡眠・花粉症・アルコール対策・片頭痛・眼精疲労等含む） けんぽニュース配信 女性向け・退職者向け小冊子、女性の健康に関する相談窓口の設置 柔道整復師等の受診に係るリーフレット配布	
<b>メンタルヘルス対策</b> ストレスチェック 高ストレス者・患者者への産業医面談推奨 ハラスメント相談窓口の設置 カウンセリング・専門医の紹介（外部連携） 新入行員研修における外部講師によるレジリエンス向上セミナー 管理職層以上向けメンタルヘルス対策セミナー メンタルヘルスマネジメント試験受験	
<b>ワークライフバランス推進施策</b> 時間外労働削減、長時間労働者への産業医面談 有給休暇取得促進（独自の休暇制度） 育児休業取得促進・認職の活用 復職サポート・再雇用制度 時差出勤・テレワーク 福利厚生倶楽部の活用 公的資格等取得に応じた奨励金 各種サーベイ（360度調査・パルスサーベイ・エンゲージメント調査）	

コラボヘルス（健康保険組合・職員組合）



目標年：2027年		健康経営の推進方針	経営方針
KGI	健康経営の目標		
プレゼンティズム 6点以上 アブセンティズム 3日以内	健康意識の向上 (心身の健康増進) ・有所見率の改善 ・健康リスク・生活習慣リスク低減	・企業活力を維持・発展させ、お客様から選ばれ、愛される存在になるためには、職員等の心身の健康保持・増進が不可欠と考え、銀行・健康保険組合・産業界・職員組合そして職員が一体となって健康づくりを推進する。 ・健全な金融機能等の提供により、活気あふれる地域づくりにも貢献する。	・パーパスと経営理念を基軸に、持続的な企業価値向上を目指し、価値創造に取り組みます。 ・変化する外部環境を的確に捉えながら、過去から培ってきた資源を最大限に活用し、独自の競争優位性を確立することで、長期的な成長を実現します。 ・これらを踏まえた明確な戦略のもと、ステークホルダーに新たな価値を提供し、持続可能な未来の創造に貢献していきます。
働きがい（ワークエンゲージメント） 7点以上	従業員の働きがい、ES向上		
女性管理職比率 30%			【ステークホルダーとの価値協創】 <お客様> 利便性と信頼性を高めるサービスの提供 <従業員> 多様な人材が活躍できる企業風土づくり <株主・投資家> 持続的な企業価値の向上に向けた資本政策の推進 <地域社会> 地域に根差した共創・共助による価値創出

株式会社北海道銀行 健康経営宣言

従業員の健康課題
<b>健康状況</b> 血圧：88 <b>生活習慣</b> 運動習慣：89 ※全健康保険組合平均を100%とした場合の数値（数値が高いほど良好）

**長期ビジョン**  
 広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客様の繁栄に貢献します。

**経営理念**  
 地域共栄・公正堅実・進取創造

**パーパス**  
 地域を超えて、輝く未来を創る。  
 あなたとこのまちの嬉しいが、私たちの一番。





# 健康経営に関する各種指標



- 健康経営に関する各種指標は、「戦略マップ」の健康投資効果における「取組状況に関する指標」、「健康関連の最終的な目標指標」等に関連する主な指標を表示しています。
- 各種指標の達成を目指すことで、様々な角度から「職員のフィジカル・メンタル面等の改善・向上」を図り、最終的に「働きがい・生産性向上」に繋がっていきます。

※ 直前年度における緑網掛け太字の項目は目標比達成となった項目。太字のみの項目は前年度比で改善した項目。

各種指標	目標(2024年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
<b>◆ 生活習慣病予防</b>							
① 定期健康診断受診率	100%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	<b>100.0%</b>
② 二次検診(精密検査)受診率	90%以上	75.3%	78.0%	80.7%	91.2%	94.4%	<b>93.2%</b>
③ 特定健康診査実施率	90%以上	90.2%	90.2%	90.6%	100.0%	100.0%	<b>100.0%</b>
④ 特定保健指導実施率	55%以上	40.0%	43.3%	53.2%	60.6%	60.9%	<b>62.7%</b>
⑤ 適正体重維持者率	65%以上	65.6%	64.5%	64.8%	64.9%	64.6%	<b>65.9%</b>
⑥ 喫煙習慣リスク	100以上	107	107	108	108	108	<b>108</b>
⑦ 運動習慣リスク		86	86	92	86	88	<b>89</b>
⑧ 食事習慣リスク		130	129	126	126	127	<b>126</b>
⑨ 飲酒習慣リスク		103	103	101	103	103	<b>104</b>
⑩ 睡眠習慣リスク		106	104	99	102	102	<b>103</b>
⑪ 平均睡眠時間(1週間)が6時間以上の者の割合	60%以上	59.6%	61.1%	61.2%	61.2%	60.7%	<b>61.5%</b>
<b>◆ 健康保持・増進</b>							
⑫ ウォーキングキャンペーン参加者数	1,000名以上	546名	1,135名	1,191名	1,115名	1,013名	<b>1,214名</b>
⑬ 肥満リスク	100以上	121	120	118	121	118	<b>121</b>
⑭ 血圧リスク		81	82	94	87	90	<b>88</b>
⑮ 血圧リスク者率	0.5%以内	0.8%	0.6%	0.7%	0.4%	0.7%	<b>0.5%</b>
⑯ 肝機能リスク	100以上	99	102	103	99	103	<b>113</b>
⑰ 脂質リスク		135	127	134	132	129	<b>138</b>
⑱ 血糖リスク		126	118	118	119	114	<b>125</b>
⑲ 喫煙率	20%未満	26.3%	23.1%	21.7%	21.6%	20.6%	21.3%
<b>◆ メンタルヘルス対策</b>							
⑳ ストレスチェック受検率	90%以上	99.1%	99.7%	99.8%	99.9%	99.9%	<b>99.9%</b>
㉑ 高ストレス者割合	5%未満	6.6%	6.0%	6.4%	6.2%	6.4%	<b>6.3%</b>
<b>◆ ワークライフバランス推進</b>							
㉒ 平均月間法定外労働時間(一人あたり)	7時間未満	5時間23分	6時間15分	5時間19分	5時間06分	6時間59分	8時間5分
㉓ 年次有給休暇平均取得日数(一人あたり)	14日以上	12.4日	13.1日	13.7日	14.7日	15.8日	<b>15.5日</b>
㉔ 育児休業取得率(女性)	100%	97.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	<b>100.0%</b>
㉕ 育児休業取得率(男性)	100%	83.7%	95.7%	100.0%	100.0%	100.0%	97.0%
㉖ 男性育児休業連続取得日数	6日以上	2.9日	3.0日	3.2日	4.2日	6.3日	<b>8.8日</b>
㉗ 看護休暇取得日数	-	583日	477日	754日	1,008日	1,445日	1,377日
㉘ 介護休暇取得日数	-	47日	118日	151日	204日	301日	310日
<b>◆ 健康リテラシー向上、パフォーマンス指標 他</b>							
㉙ 働きがい(ワークエンゲージメント)の状況	7点以上	-	7.2点	7.2点	7.1点	7.2点	<b>7.2点</b>
㉚ 仕事のパフォーマンス状況(プレゼンティーズム)	6点以上	-	6.3点	6.3点	6.3点	6.3点	<b>6.4点</b>
㉙・㉚の測定人数	-	3,209名	3,108名	3,028名	2,918名	2,927名	2,933名
㉙・㉚の回答率	-	99.1%	99.7%	99.8%	99.9%	99.9%	99.9%
㉛ 仕事のパフォーマンス状況(アブセンティーズム)	3日以内	-	2.4日	2.6日	2.7日	3.7日	<b>3.4日</b>
㉜ 子宮頸がん検診補助利用者数(女性の健康課題に関する施策)	-	34人	31人	29人	32人	35人	39人
㉝ 脳ドック検診補助利用者数	-	42人	41人	60人	56人	46人	55人
㉞ 健康ポータルサイト「PeP Up」登録率	90%以上	-	-	-	2023年度導入	97.4%	<b>97.6%</b>
㉟ 業務上災害発生件数	-	11件	19件	9件	14件	23件	13件
㊱ 通勤災害発生件数	-	14件	26件	12件	10件	26件	19件
㊲ 平均勤続年数	-	15.4年	15.5年	15.6年	15.8年	15.8年	15.7年
㊳ 就職企業人気ランキング(北海道地区)	-	18位	6位	4位	3位	4位	4位

● 各種指標に関する補足について

<生活習慣病予防>

- ⑥~⑩の対象者：子会社の北海道銀行健康保険組合被保険者を含む
- ⑥~⑩は全健康保険組合平均を100とした場合の数値(数値が高いほど良好)

<健康保持・増進>

- ⑫は北海道銀行職員組合との共催(協賛：北海道銀行健康保険組合)
- ⑬~⑱の対象者：子会社の北海道銀行健康保険組合被保険者を含む
- ⑬~⑱は全健康保険組合平均を100とした場合の数値(数値が高いほど良好)

<ワークライフバランス推進>

- ㉒の対象者：管理監督者を除く
- ㉔は取得率の計算上 279.0%、㉖は同様に97.0%となる
- ㉗~㉘は総取得日数

<健康リテラシー向上 他>

- ㉙はストレスチェック実施時に採用しているワークエンゲージメントツールを使用(10点満点)
- ㉚は東大式採用(一部修正)による自己申告による調査・分析を実施。全社平均を10点評価に変換し算出。
- ㉛は一人あたりの年間平均欠勤日数
- ㉜は被扶養者を含む
- ㉞の投資額：約14百万円(イニシャル+5年間のランニング分)
- ㊳は㈱マイナビと㈱日本経済新聞社が共同で実施する「就職企業人気ランキング(地域別)」の実績

